

第2次砥部町総合計画 評価シート

やすらぎ

- ・やすらぎの分野については、概ね順調に進んでいると思う。中でも介護予防事業のサロン活動への参加者数は、新規開設箇所もあって、実績値が既に目標値を超えている状況であり、高齢者がいきいきと安心して暮らせるための取組みが進んでいると思う。
- ・やすらぎの分野については、順調と評価できると思う。
- ・防災、住民ボランティア、障がい者サービスなど順調に推移していると感じる。地震や大水害など、予想外の自然災害が相次いでいる昨今、防災意識の向上や対策に引き続き注力すべきだと思う。
- ・健康づくりに関連する事業については、もう少し実績値を上げて欲しい。特に、特定健診受診率は、検討が必要だと思う。
- ・防災対策実施事業についても、自主防災組織の自主訓練回数を増やすべく、各区で訓練を実施できる取り組みが必要だと考える。
- ・健康づくりについて考えている人は、たくさんいると思う。各活動に参加していただけるよう、今後も周知・啓発が必要である。
- ・ボランティア活動にかかる人が増え成果が出ていると思う。
- ・高齢者が暮らしやすい支援ができていると思う。
- ・障がい者の支援はよくできていると思う。
- ・地区の防災組織に防災訓練を行うよう働きかける必要がある。
- ・交通安全啓発活動は、引き続き力を入れて行うことが重要である。
- ・各種健康教室の参加者数等見ても分かるように、健康に対する意識の高さがうかがえる。また、独居老人の見回りなど取り組みについては、実際に、玄関先で倒れている男性を発見し、救助できたことがあり大変いい取り組みだと思う。
- ・15事業18成果指標の内、「普通」以上の進捗状況が8割以上であり良好な活動状況である。
- ・進捗状況が「やや遅れ気味」であった「特定検診」についても当初計画していた活動を行い、実態把握が行われていた上で別の要因で実績が上がらない状況になっており、新たな目標や実行手順を検討する等の対応が必要である。
- ・人口減少に伴い、目標値やデータを人数で表記するのは、現実的ではないと思う。「対象人数の中でどれだけ参加者や利用者があるか」、というほうが評価しやすいのではないかと思う。

はぐくみ

- ・はぐくみの分野については、概ね順調である。ハード整備はまとまった予算と時間が必要と思われるが、引き続き計画的に進めてほしいと思う。
- ・文化・スポーツ分野も、これまで同様、町民に豊かな心が育まれるよう多彩な取組みを期待する。
- ・はぐくみの分野については、引き続き注力が必要である。
- ・児童、学生、乳幼児対策など順調の部分もあるが、もう一步の施策もある。子育てのしやすい街づくりを目指し、文化活動やスポーツ活動との連動も含め、さらに施策を進めておくべきと思う。
- ・教育相談体制整備事業については、スクールソーシャルワーカーの配置を検討する必要があるのではないかと思う。(勤務日数、人員等の見直し)
- ・生涯学習環境の整備について、教育委員会が実施する事業について、学校や児童・生徒の意見を柔軟に取り入れた事業の企画・立案をして頂きたいと思う。(放課後子ども教室の継続など)
- ・子育て家庭を支援することで、共働き世帯が増加していることは、いい傾向である。
- ・学校給食における地産地消率が高く引き続き、できるだけ本町の製品の活用を図っていくべきだと思う。
- ・学校については、児童生徒が安心して、勉強できる環境づくりができています。
- ・教育委員会が実施する各種事業により、参加者の交流ができています。
- ・スポーツに対しての支援を行うことで、参加者も増えると思うので生涯スポーツの普及が必要である。
- ・7か月検診率が100%に近い数字が出ているがこれすばらしいと思う。
- ・妊娠一般検診(5回)で5,893件。家庭訪問や電話訪問などきめ細やか対応をしており、安心して出産ができると思う。
- ・12事業の内「普通」以上の進捗状況が8割以上であり良好な活動状況である。
- ・進捗状況が「遅れ気味」である「子育て世代包括支援センター事業」、「やや遅れ気味」である「教育相談体制整備事業」においては、官民のさまざまな相談窓口があり、ニーズの状況により活動の見直しを検討してもよいと思う。
- ・イベント活動は民間でもさまざまな活動をしており、趣旨・内容が重複しないよう注意していく必要がある。
- ・担当者評価に記載されている課題がどれだけクリアできるか、また、課題改善にむけた取り組みが目標達成につながると思う。しかし、目標達成だけにとられると、住民のニーズと離れてしまう心配もあるため、現場の声を聴きながら住民が求めていることを知り、目標達成に向けて取り組んでほしい。

第2次砥部町総合計画 評価シート

いろいろ

- ・いろいろの分野については、概ね順調に進んでいると思う。中でも柑橘の生産が、順調に数字を伸ばしており、様々な支援の成果がうかがえる。
- ・観光面も観光協会ホームページアクセス数が、目標値を既に超えており、情報発信が積極的かつ適切に行われていると感じられる。
- ・行政及び関係機関が連携して、今後も取組みを推進していただきたい。
- ・いろいろの分野については、順調と評価できる。
- ・農業、商業、中小企業活性化などの施策は順調に推移していると評価できる。観光施設の一層の活用や県施設との連携、観光PR発信など引き続き注力してほしい。
- ・今後は、高齢者の増加に伴い、就労希望者も増加すると思われるので、シルバー人材センターの果たす役割は大きいと考えるので、これまで以上の実績値を目指して欲しい。
- ・農業者支援は、今後も継続が必要である。
- ・商工業の支援は、今後も継続が必要である。
- ・高齢者福祉団体助成事業は、高い就業率となっている。
- ・地域資源の魅力向上による観光客数は、成果が出ていると思う。
- ・農林業に力を入れるとともに新規就業者への支援も力を入れている点が大変いいと思う。
- ・17事業の内「普通」以上の進捗状況が9割以上であり、良好な活動状況である。
- ・遊休農地の有効活用は重要な課題であるが、対応が難しいと思う。情報・ニーズのマッチングを行うため、民間やJA等と協力して活動を進めていくことが大切であると思う。
- ・砥部町は、観光の印象が強いが、今の社会は上手に情報発信し、観光に訪れた方へ砥部を楽しむ工夫が必要であり、若者の知恵・発想を活用すればよいのではないかと思う。地元で頑張っている方も多いので、人材発掘や町の特産品を町で購入できる仕組み、住民が町産品に愛着が持てる工夫がほしいと思う。

かいてき

- ・かいてきの分野については、概ね順調であると思う。
- ・ハード整備は計画的に順調に進んでいるようである。なお、町民一人一人に、環境に対する意識を高めていただくことは大変だと思われるが、今後も引き続き、粘り強く取組みを進めていただきたい。
- ・かいてきの分野については、順調と評価できる
- ・全国的な課題でもある「空き家対策」が課題。引き続き対策を講じるべきと思う。自然保護やごみ削減、水道事業などは良好な効果が現れていると評価できる。
- ・今後は、益々財政事情は厳しくなってくると思われるが、それに伴い、町内の各種団体、事業所も苦しい運営をしていることも理解し、補助金の一律削減などの措置は、関係団体ともよく話し合い、双方の理解のもと実施をするよう、考えて欲しい。
- ・ごみ減量化の問題について、今一度住民に意識啓発を促し、徹底を図る方策が必要と思われる。
- ・安心して暮らせる住環境の整備は、成果を得られていると思う。
- ・自然環境を守る保全は、今後も良化に向けて取り組みの強化が必要である。
- ・浄化槽整備事業については、順調に進んでいると思う。
- ・団地内の道路の舗装補修、空き家相談、ごみ減量化及び資源化の推進など、かいてきな環境づくりに力を入れている点は高く評価できる。
- ・15事業の内「普通」以上の進捗状況が9割以上であり良好な活動状況である。
- ・空き家に関連する事業は、順調に進捗しているが、空き家が多くなると町・集落全体に元気のなさを感じ、移住・定住の妨げにもなると思う。
- ・信託等の活用も促し空き家になる前にできる活動も検討して欲しいと思う。
- ・空き家問題は、全国的にも課題になっているが、いろいろな取組みを知らない人が多いので周知や協力を依頼するといったのではないかと思う。